

未解決25年 やりきれぬ思い

岐阜・三田洞の女性強殺

被害者の長女「犯人野放し いいのか」

岐阜市三田洞東で2000年12月、高田千代子さん（当時77）が自宅で殺害され、現金が奪われた強盗殺人事件は28日、未解決のまま発覚から25年を迎える。今年10月には、発生から約26年がたった名古屋西區主婦殺人事件の容疑者が逮捕された。高田さんの長女林清美さん（77）＝大垣市＝は「犯人を逮捕してほしい。でもそれ以上に、母の最期をみとってあげたかった」。やりきれない思いを抱えながら、事件解決を願っている。

みぞれの降る寒い日だった。見。林さんはタクシーで現場に駆けつけたものの、捜査のため、亡きがらと対面が様子を見に行く、自宅。できたのは葬儀の直前だった。高田さんを出した。本日は着物を着て

あけたかった。現場保存が優先されて、洋服だんすにあったスカーフを棺に入れるのがやっとだった。高田さんは警察官だった夫を亡くしてから17年、1人で元気に暮らしていた。林さんらは証拠を残そうと、現場の自宅を5年ほどそのままにしていたが、借地だったため手放さざるを得なかった。

名古屋西區主婦殺人事件の被害者の夫高羽悟さんは、林さんも参加する被害者遺族の会「宙の会」の一員。これまで互いの事件の情報提供を求めるチラシ配りを続けてきた。事件現場のアパートを26年間借り続けている高羽さんについて、林さんは「容疑者の逮捕は、高羽さんの執念があったからだ」と話す。秋以降は名古屋の事件の報道に接して、母の事件を思い出すことが増えた。

林さんは今年9月、高田さんが亡くなったときと、同じ年齢になった。これまで母の背中を追うような気持ちで過ごしてきたが、これからは「母と一緒に頑張る」と生きていくという。事件解決を諦めて身軽になれたらいいと思うこともあるが「犯人を野放しにしていいのでしょうか」。

県警、情報寄せて

県警は事件発覚から今年11月末までに、のべ約9万7千人を投入して捜査をしているものの、情報提供は16年の1件を最後に途絶えている。県警捜査1課の担当者は「どんなささいなことでもいいので、情報を寄せてほしい」と話す。情報提供は岐阜北署＝058（233）0110＝へ。



事件で亡くなった母の高田さんと警察官だった父の写真をみつける林さん（大垣市内で）



高田さんのキャッシュカードで現金を引き出す男を捉えた防犯カメラの映像＝2000年12月26日（県警提供）

岐阜市高齢女性強盗殺人事件 2000年12月28日、岐阜市三田洞東の無職高田千代子さんが、自宅で電気コードで首を絞められて殺害されているのが見つかった。殺害されたとみられる26日夕、現場から約80メートル離れた同市則武の岐阜信用金庫鷺山支店（その後移転）のATMで、男が高田さんのキャッシュカードを使って50万円を引き出した。男は身長約175センチで、フード付きの黒いウインドブレーカーを着て、白のヘルメットをかぶっていた。県警はATMの防犯カメラに映った男の映像をホームページで公開している。